

阿賀町トンネル・洞門長寿命化修繕計画

令和7年9月

阿 賀 町 役 場 建 設 課

目次

1. 目的.....	1
2. 対象施設.....	1
3. 個別施設の状態.....	1
4. 長寿命化修繕計画による効果.....	1
5. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	1
6. 対象施設の長寿命化及び修繕に係る費用の縮減に関する方針.....	2
7. 新技術の活用方針.....	2
8. 費用縮減に関する具体的な方針.....	2
9. 短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果.....	2
10. 計画期間.....	3
11. 対策の優先順位.....	3
12. 対策内容と実施期間.....	3
13. 計画策定担当部署.....	3

1.目的

この計画は、阿賀町が管理するトンネル及び洞門の維持管理を合理的かつ効率的に行い、かつ、維持管理費用の縮減及び平準化を図ることを目的とする。

2.対象施設

この計画の対象施設は、次のトンネル及び洞門である。

区 分	施設名	路線名
トンネル	五十島隧道	町道 五十島向山戸線
洞門	白川スノーシェッド	町道 白川線
	石戸スノーシェッド	町道 石間取上線
	五十島スノーシェッド	町道 五十島向山戸線

3.個別施設の状態

これまでに実施した定期点検の結果の概要を次に示す。

区 分	施 設 名	判定	備 考
トンネル	五十島隧道	Ⅳ	通行止め措置中
洞門	白川スノーシェッド	Ⅱ	通行止め措置中
	石戸スノーシェッド	Ⅱ	通行止め措置中
	五十島スノーシェッド	Ⅳ	通行止め措置中

4.長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定することにより、次の効果が期待できる。

- ① 定期的な点検の実施により、施設の損傷を継続的に把握することが可能となる。
- ② ライフサイクルコストを考慮した中長期的な視点から、対策の優先順位を考慮するとともに、事業費の縮減及び平準化が図られる。
- ③ 個々の施設の道路ネットワーク機能、利用条件、環境条件等の重要度や、現在の施設の健全度を総合的に判断した上で計画を策定することにより、個々の施設の特性に合致した効率的な維持管理が可能となる。

5. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1) 健全度の把握に関する基本的な方針

健全度の把握については、各施設の建設年度、立地条件、阿賀町の環境条件を十分考慮するとともに、「新潟県トンネル定期点検要領」及び「新潟県シェッド・シェルター定期点検要領」に基づいて定期的に点検を実施し、施設の損傷を早期に把握する。

(2) 日常の維持管理に関する基本的な方針

施設を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃等を実施する。

6. 対象施設の長寿命化及び修繕に係る費用の縮減に関する方針

路線の利用状況等を勘案したうえで、健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、修繕にかかわる費用の大規模化および高コスト化を回避し、コストの縮減を図る。

7. 新技術の活用方針

国土交通省「新技術情報提供システム(NETIS)」「新技術利用のガイドライン(案)」「点検支援技術性能カタログ」等を参考に、従来技術と新技術を比較検討し、有効なものは積極的に活用していくことで、従来技術から新技術へと「技術の転換」を図り、定期点検の効率化・高度化、また、修繕の省力化や費用の縮減を目指す。

8. 費用縮減に関する具体的な方針

今後の老朽化対策に必要な費用の縮減のために次のように方針を立てる。

- ① 路線の利用状況を勘案したうえで、路線の廃止、修繕の要否を含めた施設修繕の優先順位を設定し、点検・維持管理に係るコストの縮減を図る。
- ② 修繕及び点検・維持管理においては、NETIS 登録技術を活用し、工事の高度化・効率化、工期の短縮等によるコスト縮減を図る。

9. 短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

(1) 集約・撤去等に関する短期的な数値目標

- ① 令和 12 年度までに、管理するトンネル 1 基について、利用状況を考慮したうえで、路線の廃止又は施設の集約・撤去を検討し、約 100 万円の点検・維持管理費用の縮減を目指す。
- ② 令和 12 年度までに、管理するシェッド 3 基について、利用状況を考慮したうえで、路線の廃止又は施設の集約・撤去を検討し、約 500 万円の点検・維持管理費用の縮減を目指す。

(2) 新技術の活用に関する短期的な数値目標

- ① 令和 12 年度までに、管理しているトンネル 1 基について、新技術等の活用を検討し、約 2 割程度の点検費用の縮減を目指す。
- ② 令和 12 年度までに、管理しているシェッド 3 基について、新技術等の活用を検討し、約 2 割程度の点検費用の縮減を目指す。

10. 計画期間

本計画の計画期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とします。なお、点検結果等を踏まえ、概ね5年毎に計画を更新します。

11. 対策の優先順位

対策の優先順位は、道路種別、路線の利用状況及び健全度判定区分から、次表のように定める。

(1) トンネル

施設名	路線名	利用状況	健全度	優先順位
五十島隧道	その他町道 五十島向山戸線	通行止め措置中	Ⅳ	1

(2) 洞門

施設名	路線名	利用状況	健全度	優先順位
石戸 スノーシェッド	2級町道 石間取上線	通行止め措置中	Ⅱ	1
白川 スノーシェッド	その他町道 白川線	通行止め措置中	Ⅱ	2
五十島 スノーシェッド	その他町道 五十島向山戸線	通行止め措置中	Ⅳ	3

12. 対策内容と実施期間

「対策の優先順位」及び「個別施設の状態等」を踏まえ、対象施設毎の概ねの次回点検時期を別添資料（対策施設毎の維持管理計画（トンネル・シェッド））のように整理した。

本計画期間内に要する全体事業費は、12,000千円である。

なお、何れの施設も、通行止め措置中であり、路線の廃止に向けた検討を進めていることから、修繕は必要最低限の維持管理費とし、費用を計上していない。

13. 計画策定担当部署

阿賀町役場 建設課 TEL 0254-92-5765